

バストス週報

第八八二号
昭和四十二年
三月三十一日
発行
DIRETOR
KIMI MORI
REDATOR
SHION ODA
RUA PRES.
VARGAS. 188
C. POST. 112
FONE 40
BASTOS
C. P.
ANJAL
N. CR. #.
5.00

旋風 13

内戦

古今の歴史を見るに大小の内乱とか、内戦のなかつた国は殆どないようである。その国が統一される迄の同一民族の争、他民族による王朝争奪、などは古い時代の内乱だが、現代に於ても大きな内戦が幾つも上げられる。

それが思想的争克であることが特徴であり、又、大きな悲劇でもある。

支那などはどうであろうか。本土に於ては共産党内勢力争いというか、政権争奪で、かつて他の共産国に見られない内争をやつてゐる。毛主席が、自党内の修正主義者リソ連寄りの大者をきつて肅清しようとして、その方法を誤り、内乱の様相を呈した。その間の取りもろちを周恩来がやつてゐると伝えられるが、毛、周の関係も吾々にはよく判らず、従つて、文化革命などといつても、このまま泣き寝入りにおさまつてしまふとは思われぬ。

毛主席によると、革命の成就は、銃の力に俟たねばならぬ信条であるから、日本共産党にも銃を持つてとすすめてゐる。日本の国状ではそんなことは出来ぬといふと、そんななまぬいこととて革命が出来るものかと不機嫌である。

その毛沢東が武力で修正派を討ち取ることが出来ないのもやはり治安が進んでゐる証拠であろう。日本も終戦のどさくさに、よく革命が起らなかつたものと、当時の暗黒時代を今更のようにな戦律を以てふりかえることが出来る。

一旦共産主義が浸入して来ると、全国それに制圧されれば別として、民主主義も生きのこるとすると、マツカー、サ日本占領時代に起つた朝鮮戦争のようにな内乱になり、北は中共、南はアメリカの後押しで、大変な騒ぎとなつた。

ここ数年前から、紛争をツツけてゐる南北ベトナムがその通り、北のホーチミンは筋金入りの共産党、南の民主政権は、中げ腐敗した軍事政権、南にベトナムが發生して攻撃を加へるので、これは、もう全く内戦で、手がつけられない。アメリカに泣きついて助勢してもらつてゐるのは、御承知の通りであるが、且

おとまりと
お食事はウサミで

御宴会と
御仕出し



HOTEL USSAMI

ブラジル料理
日本料理
バストスロードビアリオ前
うさみ
電話 二十二

Sapataria Bastos FONE 55

紳士用高級靴
御婦人靴
学生靴
労働靴

高級
皮革品
一切

早川靴店
電話 五十五

今、南北ベトナム内戦を治めようと、あらゆる勢力や勢力が各方面から押込まれてゐるが、Aが北爆をやめれば、終戦会談に促されるというし、Aはベトナムが沈黙すれば北爆を停止するといふし、また、アメリカも四五十万も五十万も出兵して武力鎮圧を試みてゐるのに、先方の注文通り徴兵すれば、その隙に共産勢力が再び南を犯すことは、まず白明の理である。

同じベトナムでも朝鮮と越南では強さがちがう。アメリカの援助費を食って太るばかりの將軍連では、どうにもなるまいではないか。

東洋内てくすぶっている国にもう一つインドがある。北迎インドは多種族のありま

りだ。多国籍に征服されてきた種族ばかりだ。民族間の融和もとれないでいる国だから民主政治などが正當に行われそ

うにもない国柄である。経済的にも貧困な国、イデオロギーのために戦う内戦でもない。只宗教や服色がちがっているだけの争いのようである。

世界中の内戦の国々を見わたして一番貧弱の感がある。それでは、インドネシアはとうていありか。オランダの首枷かり、や

つとのかれで独立し、スカルののお蔭でどうやら近代国家の仲間入りをしたが、国民大衆は貧しい土人の集団だし、経済力は華僑に頼られていて哀れな情態だ。

外国の借金で宮殿を建てたり、施設をする有様だ。おまけに国民の生活が向上せぬ内、スカルノは王侯のような生活をはじめ

る。マホメット教だから四人までの妻妾は公然だなどと実行する処を見ると、エライ人にはちがいなかろうが、どこか指導ずれ

がしているように見える。民族主義と民主主義の上に共産主義を一枚加えて、文互体制を編出したが、これは

木によつて魚を求めると超高度理想でしかない。故に昨年九月三十日の破共軍人の弾火にかかつて、三位一体は破れ去り、スカルノ

体制はあえなく潰れた。すい分長くくすぶつた内戦だつたが、果してこれで息がついたものであろうか。目を転じて中南米を見よう。キューバの赤化は民主横暴の反撥である民主論化の中

米にこれで火がついたわけである。アメリカの南米政策に抗して、ソ連と交遊しようとした例にジャネオがあり、早速

御禮
長らく貴組合に御世話に相成りました。が今回家事の都合によりブラジリアに移転することになりました。

組合員の皆様には親身も及ばぬ御親切な御交際を願ひ、お蔭で公私共無事に過すことができ、ほんとうにありがたく御礼申し上げます。

尚御丁寧なる御餞別をいただき重ねて御礼申し上げます。皆様の御健康を祈り、御挨拶いたします。

三月廿三日
橋元忠信
家族一同

バストス産業組合員様
従業員及び各位様

○日本語を習いましょう

○ブラジルと日本の親善の爲めにも

日本の数多くはブラジルよりずっと進んでいます。そうした進んだ日本の技術、芸術を取り入れる爲にも、日本語は必要です。

ブラジルの将来の爲にも日本語を習っておきましょう。

病院 うらの
日語校は、いつでも受付いたします。

朝 八時より バストス
昼 十二時半より 日語
夜 七時より 善友会

せめて「役人になりたい」

勝 南

州立バストス中学校舎が毀れてもう三年。先日物議りの先輩に政府は何時修築してくれるやろうかと聞いてみたら、「そんなことあてにならないわい。相手が政府やからな」という。

阿呆らしい。選挙の北盤かために来た偉い人達はみな「早速善処しましませう」と云うたが、ありやみんな嘘かいな。何でも税金とり立てに政府要人は必死となり、バストスあたりは眼中にないらしい。しかたがないから、バストス人総出て修理にのり出そう。屋根ふき替えて校舎に使用かえんやろかと、伺いを立てたら、「そんな勝手なことしたらあかん」と、きついお叱りを受けたらあかん。

ペラッソンの何とかいう交通作戦で、わしとこの子供も難儀しとるが、どうしてあんなひどいことするのやろうか。通勤者は余分な乗り替えせにやならず、朝一時間早まり起きて出かけても遅刻がちになるし、オニブス代はかさむ。月給は差引かれる。交通はますます混雑を極めているのに、フォンテネさんは、市民の窮状判らんのやろかと思つて、この局長さんは理論的に良かったら、市民が困まらうが泣こうが、とことん道でやるといって休暇明けたらりオから帰って来た。

た。養鶏家は、今や流通税のため生活費が出ず、倒産者が続出するといふのに政府では知つて居るやろかと、ときいて見たら、「そんな事は政府では百も承知じや。しかし、重税で困るのは百姓、勤人、小企業者、小商人で、一千コソト以上給料貰つとる政治家は、衣類、食料品、乗物代ぐらゐないなんぼ騰つても知れたものだ。ひくとせんとわい」ということだ。

百姓が干乾になつて逆しまに吊られて鼻血も出るよにならなうまで徴税して、野たれ死しようがどうしようが、国の経済建直しのためにはかまっておれんわいとまあ、煎し詰めるよと、さういふことにならんやないか。

「文句があるなら大統領になれ」といわれども、とでも及ばぬ月への一番乗りだ。せめて、D、E、F局長位になれたら、田舎もんがオニブスの乗場が判らなう口エて居るのを見たなら愉快だろ。お前さんもがキ坊主が多いから自動車の空気を抜きに連れて歩いて見い、面白くないやめられんぞ」とは、ずいぶんひど

いこと先輩は教えるもんである。

御禮

金四十コソトス也
生長の家ハストス誌友会へ頂く

生長の家ハストス也
生長の家ハストス誌友会へ頂く

右は先週一週にわたり養鶏講習会場として会館を使用されました。謝礼の意味で御寄贈下さいました。厚礼申上げます

州農務局御中

百人一首 (かいせつ)

秋の田のかりほの庵の苫をあらみ
わが衣手は露にぬれつつ 天智天皇

口語訳 よくみのつた秋の田を、鹿や猪が荒れにくるので、百姓たちは番小屋を作つて、夜も寝ずに番を守るが、小屋の屋根をふいてある苫が薄くてすき間があるので、着の袖が露にぬれつづけることだ。

天智天皇が百姓の身になつて詠まれた歌とされている。このように天皇が農民の身の上までいたわりお思いになるときは、万民がことごとく天皇に心からお仕えするようになった。天下がよく治まる。天下がよく治まる。天下がよく治まる。天下がよく治まる。

天智天皇(在位六六二-六七二)は、舒明天皇と斉明天皇(女帝)の間を生れられ、中大兄皇子と申しあげる。皇子は藤原鎌足らと謀つて、横暴を極めた蘇我入鹿を殺し、大化の改新(六四六)を断行し、齊明天皇のあとを継いで即位すると、都を近江に遷され、近江令をつくられるなど、政治を一新しようとした英明なお方であつた。

この歌は万葉集に「秋田刈るかりほを造りわが居れば、衣手寒く露ぞおきにけ」とある歌を作りかえたもので、天智天皇のお歌ではあるまいという人がある。

この歌のほかにも百人一首の中には万葉集その他の歌を、作りかえたものが数首ある。この歌などはその格調の上から見ても、天皇のお歌とは考えにくい。

しかし、天智天皇のお歌といふ伝へられるほど、天皇のお心がよく表われていると、読者は考え、一般もそう信じて疑わなかつた。

天皇のお心を表現した誰かの代作と受けとつてよいのであろう。百人一首の送者は藤原定家(一一六三—一二四二)である。定家は俊成の子で、父子とも平安末期から鎌倉初期へかけ、和歌の大御所として尊敬された。

俊成は幽玄の趣きある歌をすぐれた歌とした。幽玄というのは、心の奥深いもので、華麗、優美なものも内に秘めて外にあらわれず、「寂」として感じられる。あるいは「余情」としてあらわれるような美をいい、定家は父俊成の幽玄を引きついで「有心」に発展させ、象徴的な表現をして情趣ゆたかな余韻のある歌を理想とした。幽玄と有心は日本文学の美的理念をあらわすもので、「能」に影響をあたえ、芭蕉の「さび」となっている。この日本の美について詳しく語ることは別の機会にゆずらなければならぬ。

定家七十四才の頃、京都の小倉山の山荘「小倉山は嵐山の対岸にあつて、高さ三九三メートルほどの小山、東の麓には祇王寺、二尊院などの名高い寺々がある。に居て、天智天皇から後鳥羽院、順徳院に至るすぐれた歌人百人の歌一首づつ送んだものが小倉百人一首で、畧して百人一首とも呼ばれる。

蓮生に頼まれ定家が色紙に書いて与えらる。蓮生は嵯峨中院の障子(今のふすま)にはつて眺め楽しんでた。後に定家の子の爲氏が祖父の蓮生の愛した色紙の歌を世にひろめた。

徳川時代になると、百人一首は習字のお手本にされ、「歌かるた」として親しまれ、そのようにしていろいろうちに、自然に和歌の心が理解された。和歌の心は日本の心であり、日本人の風流である。百人一首を味読しているうちにそのことが明になることであらう。

生花屋武蔵 筆者 栗栖安一

日本語教育に対する所感 (一)

小沢 勇

前号に述べた如き優秀なる民族精神の継承はどうか、それにはエグマの例証を以てしても明らかで、言語により祖国の歴史を知り、祖国発展の様相を知り、内と外から「吾れは全世界に冠絶する大和民族也」と、自分も自覚し、子弟にも伝えて、其所にこそ日本語の必要性を把握する根本義が生まれる事であらう。

我がバストスに於ても、病院の経営に日本語普及の爲に持前の大和精神、相

御 禮

私こと、バストスに三十年の長きにわたり居住致しまして、皆様の御親切なる庇護により、無事に過すことが出来ましたことを、裡心より厚く御礼申し上げます。この度家事の都により、ブラジリアへ移転することになり、御挨拶する間もなく、急に出立することになりました。

バストス婦人会、仏教婦人会並に御近所の方々より御丁寧なる御餞別を頂戴いたし誠にありがとうございます。非御立ち寄り下さい、御別れの御挨拶と致します。

三月二十二日 香巻 橋本家 家族一同
バストス婦人会様 新住所
FEI HASHIMOTO
AVW-4 MERCADO POPULAR
No.2
BIDCO-C BOX-5
(FUNDO DA QUADRO 23)
ASASUL-PIANO PILÓTO-
BRASILIA-DE

互扶助、大調和精神の発露は營々として進歩の一途を辿りつつあり、何という美しく、頼母しく心強い愛の姿であらうか。万一これが、「病院のことは病人が負担すればいい。おれは病気をせぬのに費用の分担はごめんだ。万一の時は、ツッパンへ飛ばすわい」とか「日本語の事、其の適齢期の子弟のある人のみでやればいい。自分の家には、そんな子供は居ないから、それに要する費用はごめんだ」とか、利己主義のみで、物を判断して、相互愛の精神が欠けたなら、何一つとして公共の事業は成立しないであらう。

国家は多額の経費を支出して、学校を経営し、未来の優秀良国民を養成して、国家将来の発展を期して居る。外国語なるが故に、又、世界に流通性の少ない爲めに、日本語教育に力点を集らないのは、可止むを得ない所であらう。

それなればこそ、吾々は独自の立場に立って、これを推進して行く事は、吾れらの重大なる義務である。今や日本商工業の進出は眼覚ましく、通信交通の発達、祖國を身近に感じさせ、又文化の交流は、日と共に盛んになりつつある時、吾れの子弟が日本語の出来ないならば、立ち遅れをとることは明らかで、現在祖國で盛んに唱えられて居る昭和維新の海外発展を助け、祖國とブラジルとの真の

云々下へ続く

Tempero de Alta Qualidade 99.9%
Glutamato Monosodio 99.9%



SUPERAGI

聖市ルアガルボンブエーノ街二三番七階

遠藤貿易株式会社

スーパー味 たべもの屋めぐり

若人向き
大阪「あみ彦」(シユマイ)
北浜

「あみ彦」は、北浜浪花橋の、古いのれんの川魚料理のムスコが戦後にシユウマイの店を開いた。川魚からシユウマイへ、古風な軒燈がその素麗さを語るようだ。シユウマイ五個を油で少し焼いたため焼きして、牛乳色のカラスープを塩コショウしたものを一皿をえて出す。これぞ七十円、すき腹では足るまいが、なににしても安い。自家製の強みだ。シユウマイは勿論、ソースとねり辛子をつけるが、目の前のねり辛子の用意をみただけで、この密度が分かる。シユウマイをスープに浮べる流儀でたべている人もあるが、値段はかわらない。いろ書きにワシントンも書いてあるが束る人はみなシユウマイをたべる。

スーパー味はこの店にもあります



建國記念日はこうして決った

「二月十一日」は、ついによみがえった。昭和三十三年に、自民党が議員立法で「元節復活」をはかってから九回の国会提案がくり返された。十年間の悲願が実現したということか、それにしても「建國記念日審議会」の審議会の審議は、何とも歯切の悪いものであった。

「二月十一日」は、ついによみがえった。昭和三十三年に、自民党が議員立法で「元節復活」をはかってから九回の国会提案がくり返された。十年間の悲願が実現したということか、それにしても「建國記念日審議会」の審議は、何とも歯切の悪いものであった。

今年の入植祭

本年の入植祭は、去る三月上旬理事會代議員会に於て、七月十五日(土)十六日(日)の両日に挙行と決定した。尚演芸担当は、阿部五郎、宇佐美宗一の両氏が推薦された。

答申を一日延ばす

二月八日、最後の総会を終って菅原通清会長は総理府で記者団につかまされた。「総理に答申するまではいえない」「総理に答申するまではいえない」「総理に答申するまではいえない」「総理に答申するまではいえない」

記者発表をした。其の間、会長はまっすぐ羽田へ向い、そのままハワイへ行ってしまう。という情報が流れ、羽田空港へ車をよせさせた記者もいた。菅原氏は会見の終りに、こんなことをつけ加えた。「さよう(二月八日)答申ということにきめていたんだが、よく考えたら、パールハーバー(真珠湾)、太平洋戦争開戦の日じやないか。さういふ日に、二月十一日を答申して、あらぬ誤解を招いてもつまるんから、さようは口頭だけ。書面による答申は明日にします。気をつかっているんだよ……」

大宅氏の辞任に就いては、先般お会いした。新聞記者の質問にも「会長に閣審議会であつた。二月十一日に反対したひとり、阿部源一委員(東京都立大学教授)は電話でこら語つた。」

「もうかんべんしてくださいます。私のいいことには、お申の付帯意見書で言いつくしてある。正直にいつてもうこれ以上、あの問題にかかわりたくない急持だ。手紙や電話で、何んだかんだといつて来た人が、手紙で、何かの先生方に迫りました。はなかつたね。ほかの先生方も同様でしょう。大宅さんが、大分脅迫されたように思ふが、あれは、あれは、あれは、と、ああいう答申になつたけれども、二月十一日を支持した先生方でも、積極的に二〇%支持、という人はいます。神がかりの連中と一緒にされたら、たまらんからね。その点は皆さん、釈明したがつておられるんじゃないかな。」

「大宅さん、第二回の総会以外、まうたく、審議会には顔を出さず、この日の午後四時になつて辞表を提出した。東京、世田谷の大宅邸の前は、報道陣の車でゴッシー。電話は明け方の四時ごろまでなりつた。電話は明け方の四時ごろまでなりつた。」

同じ委員の桶谷繁雄氏(東京工大教授)は、これだけはいつておきたいと前置きして、「大宅さんは大変ひきような人だと思ふ。第二回の総会にはじめて出てこられた。この委員をひきようけたために多忙になり、手紙や電話の洪水でノイロ一ゼになりそうだとおつしやつただけで、あとは一回も出てこられなかつた。私たちが同じです。」

「同じです。これだけはいつておきたいと前置きして、大宅さんは大変ひきような人だと思ふ。第二回の総会にはじめて出てこられた。この委員をひきようけたために多忙になり、手紙や電話の洪水でノイロ一ゼになりそうだとおつしやつただけで、あとは一回も出てこられなかつた。私たちが同じです。」

「同じです。これだけはいつておきたいと前置きして、大宅さんは大変ひきような人だと思ふ。第二回の総会にはじめて出てこられた。この委員をひきようけたために多忙になり、手紙や電話の洪水でノイロ一ゼになりそうだとおつしやつただけで、あとは一回も出てこられなかつた。私たちが同じです。」

「同じです。これだけはいつておきたいと前置きして、大宅さんは大変ひきような人だと思ふ。第二回の総会にはじめて出てこられた。この委員をひきようけたために多忙になり、手紙や電話の洪水でノイロ一ゼになりそうだとおつしやつただけで、あとは一回も出てこられなかつた。私たちが同じです。」

「二月十一日に賛成すれば、評論家大宅の生命は終るし、返対すれば政府筋からのおぼえが思くなる。という事と、あんなやめ方をするくらいなら、初から引受けなさい。」と酷評する。また、ある新聞記者は、「私をやめたら政府が困るでしょう。」

「二月十一日に賛成すれば、評論家大宅の生命は終るし、返対すれば政府筋からのおぼえが思くなる。という事と、あんなやめ方をするくらいなら、初から引受けなさい。」と酷評する。また、ある新聞記者は、「私をやめたら政府が困るでしょう。」

「二月十一日に賛成すれば、評論家大宅の生命は終るし、返対すれば政府筋からのおぼえが思くなる。という事と、あんなやめ方をするくらいなら、初から引受けなさい。」と酷評する。また、ある新聞記者は、「私をやめたら政府が困るでしょう。」

「二月十一日に賛成すれば、評論家大宅の生命は終るし、返対すれば政府筋からのおぼえが思くなる。という事と、あんなやめ方をするくらいなら、初から引受けなさい。」と酷評する。また、ある新聞記者は、「私をやめたら政府が困るでしょう。」

「それでは、終始談笑のうちにかきまわ(吉村正会長代理)ことばかり強調しだして、なんとも妙キキリンな幕切れの審議会であつた。」

「審議会は、初めから結論を出していった。企画、演出は最初からちやんとできていたんだ。第二回総会しか出ていないが、審議以前に結論が出ていたんだ。審議にならぬ。おかしな話だ。」

「審議会は、初めから結論を出していった。企画、演出は最初からちやんとできていたんだ。第二回総会しか出ていないが、審議以前に結論が出ていたんだ。審議にならぬ。おかしな話だ。」

「審議会は、初めから結論を出していった。企画、演出は最初からちやんとできていたんだ。第二回総会しか出ていないが、審議以前に結論が出ていたんだ。審議にならぬ。おかしな話だ。」

「審議会は、初めから結論を出していった。企画、演出は最初からちやんとできていたんだ。第二回総会しか出ていないが、審議以前に結論が出ていたんだ。審議にならぬ。おかしな話だ。」

「審議会は、初めから結論を出していった。企画、演出は最初からちやんとできていたんだ。第二回総会しか出ていないが、審議以前に結論が出ていたんだ。審議にならぬ。おかしな話だ。」

「審議会は、初めから結論を出していった。企画、演出は最初からちやんとできていたんだ。第二回総会しか出ていないが、審議以前に結論が出ていたんだ。審議にならぬ。おかしな話だ。」

「審議会は、初めから結論を出していった。企画、演出は最初からちやんとできていたんだ。第二回総会しか出ていないが、審議以前に結論が出ていたんだ。審議にならぬ。おかしな話だ。」

「審議会は、初めから結論を出していった。企画、演出は最初からちやんとできていたんだ。第二回総会しか出ていないが、審議以前に結論が出ていたんだ。審議にならぬ。おかしな話だ。」

「審議会は、初めから結論を出していった。企画、演出は最初からちやんとできていたんだ。第二回総会しか出ていないが、審議以前に結論が出ていたんだ。審議にならぬ。おかしな話だ。」

「審議会は、初めから結論を出していった。企画、演出は最初からちやんとできていたんだ。第二回総会しか出ていないが、審議以前に結論が出ていたんだ。審議にならぬ。おかしな話だ。」

「審議会は、初めから結論を出していった。企画、演出は最初からちやんとできていたんだ。第二回総会しか出ていないが、審議以前に結論が出ていたんだ。審議にならぬ。おかしな話だ。」

「審議会は、初めから結論を出していった。企画、演出は最初からちやんとできていたんだ。第二回総会しか出ていないが、審議以前に結論が出ていたんだ。審議にならぬ。おかしな話だ。」

「審議会は、初めから結論を出していった。企画、演出は最初からちやんとできていたんだ。第二回総会しか出ていないが、審議以前に結論が出ていたんだ。審議にならぬ。おかしな話だ。」

「審議会は、初めから結論を出していった。企画、演出は最初からちやんとできていたんだ。第二回総会しか出ていないが、審議以前に結論が出ていたんだ。審議にならぬ。おかしな話だ。」

「審議会は、初めから結論を出していった。企画、演出は最初からちやんとできていたんだ。第二回総会しか出ていないが、審議以前に結論が出ていたんだ。審議にならぬ。おかしな話だ。」

「審議会は、初めから結論を出していった。企画、演出は最初からちやんとできていたんだ。第二回総会しか出ていないが、審議以前に結論が出ていたんだ。審議にならぬ。おかしな話だ。」

「審議会は、初めから結論を出していった。企画、演出は最初からちやんとできていたんだ。第二回総会しか出ていないが、審議以前に結論が出ていたんだ。審議にならぬ。おかしな話だ。」

句会案内

日時 四月二日(日) 夜八時

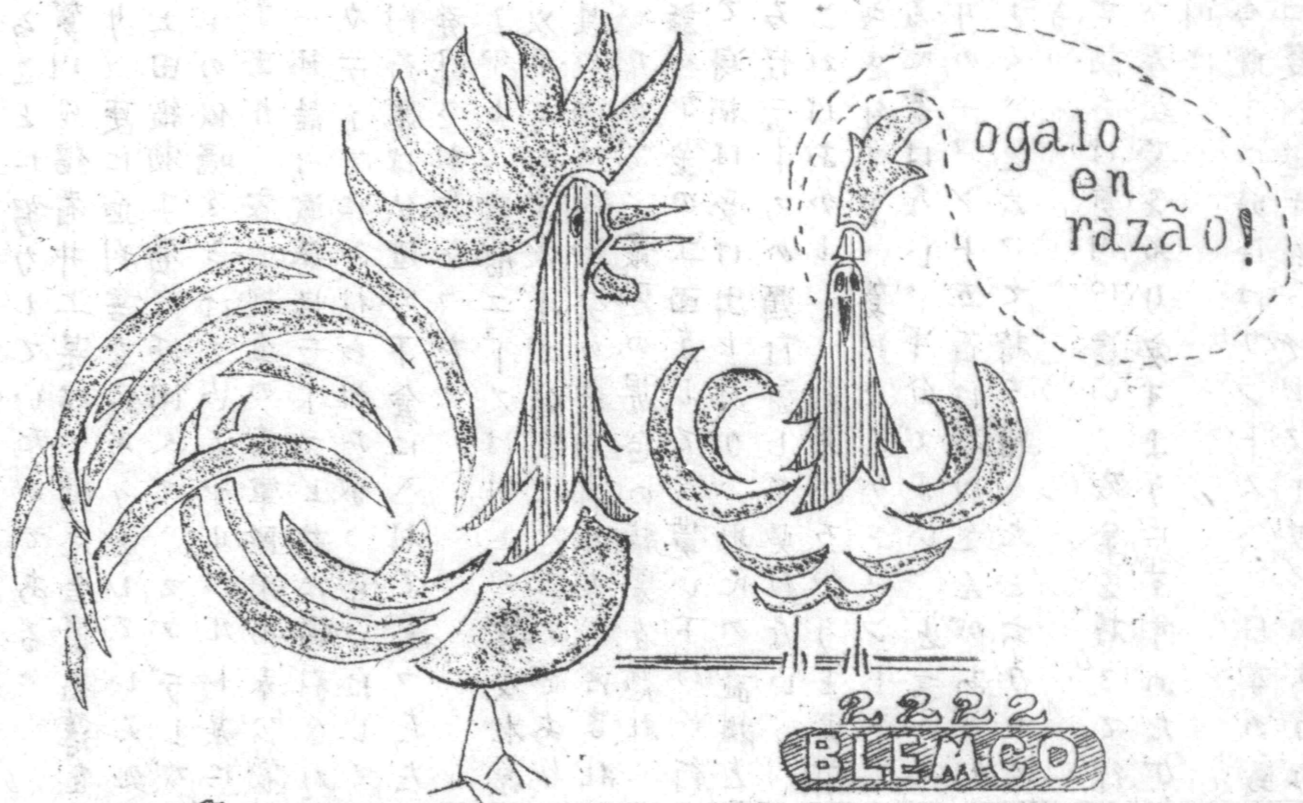
場所 コチア村 松下 居

兼題 唐車、蜻蛉、鳴子

通じて 八句持 考

当夜七時 北賦層前よりクルマが

仙 人 掌



RAOÃO POTENCIADA ... só com AUROFAC

養鶏家の危期を打開す唯一の途は

アウロファク あるのみ

これまでアンチビオチコの量を増やしても、ある
ある一定の量しか摂取しませぬので全くむだでした
しかし、アウロファク（アンチビオチコプレット）
はそのまま吸収され、血液の中の含有量は最高に達し
体内の毒物は排除され、鶏の健康は見方がえるよう
になります。

鶏の病気はなくなり、短期間に丈夫に育ちます。
これがポテンシアップン（乗へき速）というわけです

アウロファクを

ぜひ御使用下さい

各産業組合にあります

レプレゼンタンテ

鶴

勝

小説

目屎歯屎(勝負け物語) 廿六

糸音作

忠君愛国同志会

前四、賀川某が上田製糸に大工として
働いていたと書いたが、当時の事を記憶
している人があって、その説明によると
一就職をたのみに来て上田工場主と話を
した程であったそうだが、マルテールと曲
尺と鋸一丁で指物師でございといつた口
のききようで、すぐニせ大工といふこと
がばれてしまつた。そういう人間だから
時局の流れをうまく泳いで金にしよう
と考へたのかも知れない。

組合へ二度目に来たのは四十六年二月
頃であつた。裏口の方から入つて来て、
大急ぎで専務を呼んでくれ、出来るだけ
多く従業員を集めてくれ、というのであ
つた。裏の控室で賀川は皆の集るのを待
つていた。

専務や久保山常務、主事をはじめ四五
人の従業員が集つたところ賀川はオホ
ンと咳ばらいをして
「実は今日伺つたのは外でもない。本会

は本部よりの指命によつて重大なる事項
をお伝えに来た」と口を切つた。

久保山理事が口をばさむ……
「君達の本部とは何処かい」

「そんな事は答える必要ない」
「本部とはどこかと尋ねているのだ。何
処にあるか判らんような本部などの申し
伝えなどきくに及ばん」

「本部は日本の参謀本部にきまつとる」
「で、君は本部のナニビトなのだ」

「参謀本部の者だ……身分については極
秘であるから云うことは出さぬ、だが、
海外に出ているものは、將以上だ」

「すると君は賀川少将か」
「久保山理事は口が立つので、一々応対
して、ひやかれ半分だ」

「そういえば賀川某は一見四十五六才の
丈高い男で、アメリカ色のグリーンがかつ
た閑襟シヤツ、乗馬ズボンに長靴といつ
た百姓ばなれのいでだちである」

「貴組合の諸公に於ては、日本が敗戦し
たかの如き宣伝をして居ることが当局の
耳に入つて居るが、一体日本国民として
、何と悪い事をしているのか、そのこと
について、よく調査せよとの命令であ
る。本官の報告いかんによつては、その
ままですまぬといふことになつとる」

久保山理事はこの位の脅迫にはまけて

「するといない。君に何程かの献金でもし
て何分よろしくたのむと云え……と云う
んか。何をしやらくさい。おめえらの脅
かしにのつてたまるか」

「久保山君、一がいにぞういうものでは
ない、組合外に一步足をふみ出して世間
の声をきいて見るがいい。組合は敗戦の
本山だぞ。真のたましいの持主たる組合
員は、今や組合に反旗をひるがえしとる。

この際日本当局の指令を守つて組合を
指導していくのが日本人のつとめではな
いか」と賀川氏も一流の弁舌をふるう。
専務は「賀川さん、このお話は又の機会
まであずかつておきましようや。

組合は敗戦の宣伝はして居りませんが
時局を正しく認識しなればならんとは
云うとります。今日は大変ごくるうさま
でありました」

と、あっさり打切つてしまつた。
賀川の意向では組合から献金をさせる
つもりではなく、自分達同志の者達に、
組合の専務や久保山理事たちに説教して
来た、充分彼等を反省せしめたといつて
自分の偉大さを吹聴させるのが目的であ
つたのであるし、だから、

「溝川君は、俺の説明に感服し、同調し
た」などと云いふらし、自分の評価を高
めることに努力していたのである。
賀川の信者井上某は、同志会員名簿を
作り、更に血判書を作ろうとして居る処
を上田織物工場の使用人で、スアデレガ
ードの依頼をうけているアルベルト某に
つかまり、家宅捜査の末軍用奉公袋
に一杯詰り、戦勝ニュースと共に拘引され
、カテイアに入れられたが、幸いにして
血判名簿は仏壇の下倉に入れてあつたた
め発見されなかつた。

しかし、戦勝ニュースは井上の妻反松原
某以下二、三名の手で複写したものであり
、其の中に同志会の趣意書などが含まれ
ていたので、最悪の場合の結果を恐れ、
世話人が金の工面をして、貰い下げに行
つて身柄は受け出したが、肝心の証拠と
なる怪ニュースの類は返して呉れない、
これははおかしい、約束がちがうと妻女
にきき糺すと、賀川さんが三コントスも
やる必要はない。半分でよい。と言つて
残りの一コント五百は賀川さんがあずか
つとく、と云つて持ち帰つたと云うので
ある。

世話人は賀川に逢い、残金を持つて行
き、奉公袋を取り戻すようにすすめたが
賀川は

「今晚十二時にはサントスへ、日本の戦
艦二隻入港する。そしてキサマのような
非国民らは死刑だ、わしの手で銃殺して
やる。明日までの命じやけん言いただけ

今のうちには吠えておけ」と取り合
つたが、その夜が明けても軍艦が入港し
ないの、井上の妻は残金を持つて再び
アルベルトを訪うたが、アルベルトは金
だけを取り、奉公袋はマリリマの警察へ
送り付けたのであつた

あの時奉公袋をとりもどしておけば、
井上某も妻子を残し数年に及ぶ流刑も免
れたであらうし、松原以下二名の者もマ
リリア送りにならなかつたのに、と世話
人は当時を思い出して速懐していた。

やがて勝組検挙と共に臣道連盟、格組
と、井上某は、警察の糾問にも、デテ
ンソンの数度の拷問にも同志の名前を言
わず、始終黙秘権を押し通したために、
賀川以外に一人も検挙されることなく済
んだが、当の井上は一ばん長く島にとり
おかれ、非運な因にあつたのである。

賀川についてはまだいろいろ逸話があ
るが、要するに時局に便乗したゴロツキ
の一人であつたに過ぎない。勝組の間
を巧みに廻つて、うまいニュースで釣り込
み、なにがしの会費をとつて廻つて居た
一種の詐欺漢で、こういう手合いが邦人
間をいかにまどわせたものか、いはば、
コロニアのガニのようなものである。

訂正：御しらせ
散髪代は従来通り
ハ○センチホス 旧ハ○クルセーロです。
一コントお持ちになりましても、ツリ
銭の用意はございます。
前回不用意な書き方をいたしましたして、
皆様に申し訳け有りません。
一生一代の大失敗です。
男前製作所

訂正
本紙(三四頁)橋本家とあるは橋元でい
の誤りにつき訂正いたします

奥地安全
A カラガタツバが山海嘯を埋つてし
まったさうだ。集中豪雨なのは、これ
いねえ
B そのこと、そのこと、どうも海岸地方
は集中豪雨が多くてあかん。
A そのうち海岸地方から、み入る奥地
へムダンサしてくるよね さつと
(竹の子)

養鶏朗報

小林弁護士及び養鶏家代表本田正雄両氏は去る三月十四日上聖、京野州議の庇援を得て、ソドレ一知事に面会し、例の流通税問題に關し、州庁内農務長官レディと談合する許可を得るに到つた。

農務長官は賦務局の上官に研究を委嘱するといふ異例の便宜を興えたので、小林、本田両氏は毎日の如く、カラパットという、ありがたくなれない異名を頂戴しながらも脂汗を流しながら懸命の努力をつづけ、遂に流通税に新解釈を加えた法令を發令まで漕ぎつけて歸つたといふ。

従来普通商品に於ける流通税は仕入れ値と小売値の差(利益)の十五%を納税するものである。鶏卵などは、売価そのまゝへ課税される不合理を鳴らすものであるが、これが少しも役人にピンと来ず、もたもたしていたのである。

飼料はミートリヨであれ、肉粉であれ課税されたものを養鶏家は買入れ、これをコンポストして飼料とするが、之は免税である。……と政府側は思に着せ、養鶏家側は個々の飼料で課税を受けているといつてゆずらず、この点をくどく説明して、やつと諒解点に達した。

そうすると、飼料を用いて卵を生産する並を経費とし、卵の売價の差額に流通税を支払えばよい勘定となるが、実は養鶏家各自では差異があるので一律の%を出すのは事面倒である。

そこで法定帳簿を用意し、正規の検閲を経て、デスベールザと鶏卵売上の正確な数字を記録することとなり、これに關する法令發布となつたといふことであるが、日ならずして実施される筈であるといふ。これが実施されると旧課税と同率か、ちがつても多少の数字であるといふから、まず養鶏家にとつては大収穫と云わればなるまい。

他にも減税運動も起つてゐるが、どちらにしても、あの巨岩の如くビクともしなかつた流通税も、ここに幾分のゆとりが出来さうな気配を示し、御同慶に堪えない。

(三月廿二日記)

文学 名作の鑑賞

川端康成

伊豆の踊子 私は二十歳の高校生。一人伊豆の旅に出る四日、天城七里の山道で、湯が島で見かけた踊子に再会することができた。踊子は十七ぐらゐにみえ、「古風の不思議な形に大きく髪を結つて」太鼓を背負い、「髪を豊かに誇張して描いた歴史的な娘の絵姿のような感じだった」。

DEBULHA - SE MILHO

ミートリヨの
収獲が出来ましたら……
脱粒 いたしましろう



脱粒は最も
信用ある
トヨシマに御用命下さい
大体の表数など御知らせ下さい
好都合です
南銀・船辺さんの住宅向い側
清家まで御申込み下さい。
電話 一四四番
豊島重幸
フルツイラ

私は踊子の一行と近づき、下田まで同行するこゝとになった。一行は大島の波浮港の人たちであつた。私は、薫というその踊子が、ひどいにはかみ又左のおどろろいた。湯ヶ野の宿で、夜の激しい雨音にまじつて、三味線と太鼓がきこえ、女の金切声が稲妻のようにきこえ、と、「ああ、踊子はまだ宴席だ」と、私はじつとすわつていられない。太鼓が止むとたまらなかつた。踊子の今夜が汚れるのであるうかと悩ましかつた。雨の音の底に私は流みこんでしまふのであつた。

しかし、翌日は晴れた川向うの共同湯から、真裸のまま女が私をみつけて走り出で、両手を一杯に伸ばしてなにかを叫んだ。若相のような足のように伸びた白い裸身を眺めて、私は心に清水を感じ、「子供なんだ」と、ことごとくと笑つた。

私たちは下田までいっしょに旅をして、そこで別れた。朝の乗船場に送つて来た踊子は、昨夜のままの化粧で、それが一層感情的なものにした。「まなりの紅が怒っているような顔に幼いリリとをさかえていた。踊子はまるで口をきかなかつた。船室に入つて、私は力パンを枕にぼろぼろ泣いた。不審顔にたずねる人に、私は非常に素直に答えることができた。

「今、人に別れてきたんです」と。

大正七年の秋、当時同組一高生の作者は伊豆に旅して、旅芸人と道連れになつた。作者は以後十年、毎年湯ヶ島に出かけてゐる。この小説は八年後に、やはり湯ヶ島に於て完成された。この小説が出てからは、寮敷と天城が、戦前のインテリ青年の感傷の象徴であつた。

終り

Aviso de Cine Bastos

二本文

三月二十八日(火)八時 廿九日(水)八時
 日活 **あいつと私** 石原裕次郎 吉永小百合
 天然色 芦川いづみ 笹森礼子
 特望の石原裕次郎全生才回作品ロマンの香り高い石坂文子噴流となつてよみがえる裕次郎の新魅力!
 地獄の夜は真紅 小林 旭 松原千恵子
 白木まり 川地民夫
 三月三十一日(金)八時(四月一日(土)九時半)
 東宝 **おいろけ説法** 人気絶頂の今東光原作
 天然色 女房の尻ぬぐいをイキにさばく河内平野の東吾和尚のおいろけ説法
 四月二日(日)九時半 三日(月)八時
 東宝 **お姐ちゃん三代記** 団 令子 中島そのみ 扇 千景
 天然色 重山規子 草笛光子 越路吹雪
 女三倍のお色気と爆笑ノ風変お姐ちゃん羅り通る!
 四月四日(火)五日(水)両夜とも八時
 未定

四月七日(金)八時 八日(土)九時半
 東宝 **青べか物語** 森繁久弥 左幸子 東野英治郎 フランキ堺
 天然色 池内淳子 乙羽信子 桂小金治 團井啓介
 笑いもむき出し、色色もむき出し、涙もろくてケケケボウ奴らがイキな橋さばき小舟を漕ぐーこれは涙交った文芸巨篇
 四月十四日(金)十五日(土)
 東宝 **暗黒街全滅作戦** 三橋達也 浜 美枝
 悪に挑む悪! 東西の二大暴力団の谷間を叩くユウする三五の狼
 バストス名物 **ブラシゴ**のフランゴをどうぞ 阪東・古沢商店にあり

遺言

ある交通事故でなくなった人の話、大は債権債務、小はシャベのこと、に到るまで巨細にわたってメモに記入してあったため、整理にあたった人は非常に助かったということだ。その人まさか事故死をするとは思わなかった。ところが、日常の心がけというが性分というが、まことに見上げたもったいなかった。K氏も病気で万一の時のことを思ったのであろう。T病院へ入院する時、シャベのおき処や書類に關して注意して行つたさうだ。しかし家人は何をそんなに大袈裟なと思つたか、数日後K氏は不帰の人となつた。人からの預りものなど、まごつかずに処理できよかつた遺族の人はいつている。

古来遺言というものはこの國にもあり、資産家などは分配に關して氣をつかうものだが、私は私なりに遺言をしておくと、往生の際充分の指令ができたよ。だが中風で口もきけないようになつてからでは面白くない。頭のしつかりしてはいる間に色々と言ひのこすべからぬはないか、と、御賛成の諸君はありませんか。 I S

FRIGORÍFICO BRASHE DA LTDA

バストス名産



ブラシゴ

販売店 (阪東商店 古沢商店) 又は アバテドローへ

そのまま直ぐ調理できる
 おいしいフランゴ
信太兄弟商会